

事業所名

ワンライフ KANI

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

4月

1日

法人（事業所）理念		一度きりの人生を豊かにしよう											
支援方針		小集団の中で、社会性や運動面、ことばの理解等の発達が促されようとして支援していきます。個別にかかわる時間も大切にしお子様とスタッフとのコミュニケーション作りも心掛けています。また、ブラジルを主とした多国籍のお子様も利用されているため、お子様・保護者様も安心して話することができる場を提供しています。お子様・保護者様のニーズにも応えられるように資格のあるスタッフが支援方法を共有し、総合的に支援が行えるように努めています。											
営業時間		平日	9 15	時	30 10	分から	13 17	時	00 40	分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
		土日祝	9 14	時	00 30	分から	13 17	時	00 00	分まで			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 定期的かつ定時に通所できるように生活リズムを整えるように支援します。 通所したら手洗い、消毒などを行い、定期的な身心の把握（検温・気分の把握など）を行い、一人一人の健康状態を確認し、意思表示が困難な子どもたちの小さなサインにも気づけるように配慮していきます。 											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や手足の運動、体力の向上等支援します。 微細運動（スライム・シール貼りなど）粗大運動（ボールやトランポリンなど）を行い、動きの予測、判断、協調運動、指先の感覚等を遊びを通して学べるように支援していきます。 											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 日付・天気の把握と確認による感覚・数の認知形成を促していきます。 小集団でのゲームなどのルールの確認や認知の偏りの配慮を行いながら支援していきます。 季節の変化への興味など感性形成のための外出・行動に取り組んでいきます。 											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化を行いながら、支援していきます。 意思の伝達ができるようにお子様の特性に合った方法で支援し、コミュニケーションをとる楽しさを感じられるようにしていきます。 											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 行事を通して自分の役割を果し、他児と協力する喜びを知ることで、自己肯定感が持てるよう促していきます。 一人遊びの状態から、職員が仲介して行う連動的な遊び、ルールのある協動的な遊びを通し段階を踏んで社会性をはぐくんできていきます。 											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> お子様の発達状況や特性の理解に向けた相談援助にも取り組んでいます。 言語面で不安がある場合には可能な限りサポートできる体制が整っています。 					移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 進路や移行先の選択についてお子様やご家族への相談援助、移行に向けた支援を行っています 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所と連絡を取り、お子様の発達支援に関する共有や気になっている点等、密に共有しています 天気のいい日には川合公園や事業所の周りなどを散歩をし、すれ違う方と挨拶をしながら、地域とのかかわりをつくっています 					職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 毎月事業所研修を通じて、知識や現場で使いやすい技術を学んでいます 日々朝礼等のミーティングで支援の状況や目標を確認し、コミュニケーションをとるように努めています 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> フェスタジュニーナ(ブラジルの農祭り)、夏祭り、七夕、ハロウィン、クッキング等、多国籍のお子様もいるため様々な国の文化を感じられるような、イベントを実施しています。また、イベント開催時には利用者様の兄弟やご家族にもイベントに参加してもらうことがあります。 											